

平成26年度事業報告

1. 「一般社団法人」としての社会貢献と会員ステータスの向上に関する事業

日種協本部及び協力団体（ブロック会、支部）との連携により地域活動等の活性化を図ることとし、「食育推進プロジェクト」による健全な食生活の普及、「花育」による豊かな生活環境の普及を図ること等により社会貢献を一層強化し、会員ステータスの向上を図った。

特に、「食育推進プロジェクト」では、26年度に全国の小学校等116校で、延べ14,930名の児童の参加により、一般野菜や地方伝統野菜等の食材の生産から消費までの食育活動を行い、実施小学校、教育委員会等から高い評価を得ることができた。

一方、「花育」では、東日本大震災で大きな被害を受けた東北3県（福島県、宮城県、岩手県）において、チューリップ及びムスカリ球根を植栽した1,500プランターを被災者に贈呈し、これの栽培を通じて心の安らぎを得て頂くことにより、被災者の復旧・復興に向けた活動を支援した。

2. 園芸種子等の生産、流通の改善等に関する調査、研究に係る事業

野菜種子、花き、芝・牧草、苗、栄養繁殖性植物、資材の6部会において、それぞれ、調査研究と情報の交換並びに技術、制度等の改善向上を行い、園芸種子等の生産、流通の改善を図った。

共通のまたは専門的事項については、会員、政策、法務、広報、技術研究、国際、経営研究、流通の8委員会において、部会からの諮問に対し研究、協議を行い解決を図った。

3. 種苗管理士（シードアドバイザー）の資質向上のため、講習、講演会の開催に関する事業

優良な種苗の供給を図るためには、関係会員の資質向上が不可欠であるため、当協会の独自事業として「種苗読本」や関係法令を用いた種苗管理士講習会の開催により、種苗管理士（シードアドバイザー）の技術力向上を図り、種苗購入者へのサービス向上に貢献した。

この結果、種苗管理士の有資格者は、全国で約3,500名に達し、農業者、一般消費者等へのサービス向上、普及啓発に貢献している。

4. 優良な園芸種苗等の開発普及の促進に関する事業

大臣賞が復活した「全日本品種審査会」（26年度：野菜12品目、花き13品目）等を通じ、新たに開発された優良品種、並びに種苗法に基づく新規登録品種について広く公表し、農業者、一般消費者等へ優良品種の普及に努めた。なお、審査会で特に優秀と認められた6点については、27年度定時総会に合わせ農林水産大臣賞が授与されることになっている。

併せて、昨年成立した「花き振興法」の目的に沿い、花き産業の振興に資するとともに、農水省の「強みのある農業」の振興方針に沿い、実需者、行政、研究機関等と連携しつつ、近年増加する加工・業務用野菜品種の育成・開発を推進した。

5. 民間育種に関する権利の保護を通じて民間育種を助長する事業

種苗法による新品種の権利保護制度の普及、充実に協力するとともに、官民連携して知的財産権の保護に係る民間フォーラム等に積極的に参加し、民間育種の助長と登録品種であることを表示するPVPロゴマークの普及に努めた。

6. 独立行政法人等の新規育成種苗の配布協力に関する事業

独立行政法人等で新たに育成された園芸種苗等の公表及び利用許諾に協力し、農業者や農業団体等が新品種を広く利用できるよう支援に努めた。26年度には、野菜茶業研究所及び花き研究所が育成した16品種について利用許諾に協力した。

7. 品種名称の整理、重複防止等に関する事業

品種名称について、引き続き品種名の重複防止を図り、一般利用者に対して業界の信用を高めるため、協会の独自事業として品種名の整理を行い、これを基にして「野菜品種名鑑」（掲載品種数は約8,900品種に増加）を発行し、その適切な利用を図った。

8. 園芸種苗等のリスク管理に関する事業

農水省の関係部局と情報交換しつつ、園芸種苗に関するGM種子との交雑問題への対応、植物防疫組織との連携によるISPM（種子の国際移動に関する国際基準）の早期策定支援、及びBFBやLso対策の強化の一環として「種子検査(病害)サービスシステム」の設立等について検討を行った。また、種苗法、農薬取締法に準拠して農薬の適正な使用及び表示等の問題に的確に対応した。

9. 災害対策用等種子の備蓄に関する事業

協会独自の事業として種子の安全保管事業を行うことにより、野菜・花きの各種災害対策及び需給安定のための種子の備蓄・交換を行った。

なお、26年度の野菜種子安全保管事業の実績は12品目59点となった。また、種苗交換会は、協会の支援により、京都、中部、九州、京都において4回実施された。

10. 国際種子機構等との連携に関する事業

UPOV(植物新品種保護同盟)条約の正式加盟国との連絡を密にしたほか、ISF(国際種子連盟)(ISHI(国際種子病害対策機構)を含む)、APSA(アジア・太平洋種子協会)等との連携を強化しつつ、園芸種苗等の国際交流の活性化を図った。

また、25年10月に締結されたITPGRFA(植物遺伝資源に関する国際条約)の活用により、海外の優良な園芸植物の遺伝資源の導入を図ることを検討した。CBD・名古屋議定書については、その締結に際し広く産業界との調整を行うことを求める等の要請書を関係団体連名で提出した。

- ・ ISF北京大会に参加(平成26年5月24日～28日)
- ・ APSAマカオ大会に参加(平成26年11月10日～13日)

11. 会報のフルカラー化並びにホームページの拡充及び連絡網の構築に関する事業

園芸種苗等に関する各種情報の交換と広報活動を密にするため、会報「種苗界」誌のフルカラー化を継続するとともに、本会のホームページの充実強化により会員種苗店の店舗情報の拡充を図った。

また、「貿易と検疫」、「育種と品種保護」、「病虫害」、「関係省庁通達」の4分野毎に、情報提供を希望する会員の連絡網(メーリングリスト)を構築し、情報の提供を開始した。

以上

「事項別事業報告」

事項別 開催等年月日	会場等	摘要
総会 26. 6. 11	東京・上野精養軒	第41回定時総会 1. 平成25年度事業報告 2. 平成25年度収支決算報告 3. 平成26年度事業計画 4. 平成26年度収支予算 5. 本会の運営に関する件 6. 理事・監事・参与・相談役・顧問改選に関する件
理事会 26. 4. 23 10. 2 27. 3. 10	東京・上野精養軒 東京・上野精養軒 書面審議	第1回理事会 1. 本会の運営について 2. 平成25年度事業報告 3. 平成25年度収支決算報告 4. 新規加入会員の承認 第2回理事会 1. 本会の運営について 2. 新規加入会員の承認 講演会 第3回理事会 1. 平成27年度事業計画 2. 平成27年度収支予算
監事監査 26. 4. 14	東京・日種協	25年度事業報告及び収支決算について
常務役員会 26. 4. 23 6. 11 7. 16 7. 17 10. 2 27. 1. 28 3. 5	東京・上野精養軒 東京・上野精養軒 東京・日種協 東京・上野精養軒 東京・上野精養軒 京都・セントノーム京都 東京・日種協	1. 理事会提出議案について 2. その他 1. 第41回定時総会議案について 2. その他 幹部会 1. 当面する課題について 2. 今後の運営について 1. 常務役員会の運営について 2. 各部長及び委員長の承認について 1. 理事会提出議案について 2. その他 1. 食育推進プロジェクトの進め方 2. 日種協内の連絡網の構築について 3. 種子の輸出入に関する植物検疫措置 4. 各ブロックにおける情勢報告について 5. その他 幹部会 1. 当面する課題について 2. 今後の運営について
野菜種子部会 (部会、備蓄) 26. 6. 10 6. 20 10. 1 10. 6 10. 28 10. 29 27. 2. 27	東京・上野精養軒 東京・農水省 東京・上野精養軒 (文書) (文書) (文書) (文書)	1. 平成25年度後期事業報告 2. 作柄情報 3. 部会運営、決議事項 4. 平成26年度前期事業計画 講習会 加工業務用野菜流通セミナー 1. 平成26年度前期事業報告 2. 作柄情報 3. 食育推進プロジェクトの活動報告 4. 部会運営、決議事項 5. 平成26年度後期事業計画 講演会 園芸種子保管事業実施について関係者へ照会 園芸種子保管計画を種苗管理センターに提出 園芸種子保管計画に基づく検査試料提出について安全保管者に通知 園芸種子保管計画に基づく試料の検査結果報告書を安全保管者に通知

事 項 別 開催等年月日	会 場 等	摘 要
野菜種子部会 (食育推進プロジェクト)		
26. 3. 14	(文 書)	農林水産省後援名義の承認 (平成26年度分)
9. 5	京都・タキイ種苗本社	食育推進プロジェクトの今後の進め方について
10. 2	東京・上野精養軒	特別功労賞表彰式
27. 1. 28	京都・セントノーム京都	今後の進め方について
2. 20	(文 書)	農林水産省後援名義の承認申請 (平成27年度分)
野菜種子部会 (審査会関係等)		
26. 4. 3	(文 書)	(審査会は技術研究委員会との共管) 群馬県キャベツ栽培委託事業の参加募集 (参加11社)
5. 9	山口県農林総合技術センター	タマネギ審査 (出品15点)
6. 5	千葉県農林総合研究センター 北総園芸研究所	ニンジン審査 (出品15点)
6. 10	東京・上野精養軒	第64回全日本野菜品種審査会授賞式
7. 3	長野県野菜花き試験場	レタス審査 (出品13点)
7. 8	山口県農林総合技術センター	ダイコン審査 (出品29点)
7. 11	長野県野菜花き試験場	ハクサイ審査 (出品19点)
8. 8	長野県野菜花き試験場	スイカ審査 (出品22点)
9. 2	東京都農林総合研究センター 江戸川分場	コマツナ審査 (出品25点)
10. 24	千葉県農林総合研究センター 東総野菜研究室	キャベツ審査 (出品33点)
10. 29	石川県農林総合研究センター 砂丘地農業研究センター	ダイコン審査 (出品33点)
11. 18~19	愛知・ウインクあいち	課題別研究会「レタス類野菜の需要の変化に対応した育種・栽培に関する諸問題」
12. 4	兵庫県農林総合技術センター	ブロッコリー審査 (出品19点)
12. 22	神奈川県農業技術センター	ホウレンソウ審査 (出品26点)
27. 1. 15	山口県農林総合技術センター	キャベツ審査 (出品29点)
2. 23	三重・野菜茶業研究所	全日本野菜品種審査会 特別賞選考委員会
花き部会		
26. 4. 25	兵庫県農林総合技術センター	ペチュニア審査 (出品18点)
5. 26	東京・日種協	花き部会専門委員会 1. 全日本花卉品種審査会の実施計画について 2. 今後の品種審査会実施方針について
6. 10	東京・上野精養軒	1. 全日本花卉品種審査会の実施計画について 2. 平成26年度花育活動の計画にて 3. 花き産業を取り巻く状況に関する諸報告事項について 4. 各社状況報告 (作柄・営業等の話題提供)
6. 10	東京・上野精養軒	第59回全日本花卉品種審査会授賞式
7. 23	福島県農業総合センター	ユーストマ審査 (出品28点)
8. 7	長野県野菜花き試験場	アスター審査 (出品13点)

事 項 別 開催等年月日	会 場 等	摘 要
花 き 部 会		
10. 23	広島県立総合技術研究所 農業技術センター	ユーストマ審査 (出品 25 点)
11. 7	山形県農業総合研究センター 圃 芸 試 験 場	ハボタン審査 (出品 10 点)
11. 12	奈良県農業総合センター	パンジー審査 (出品 15 点)
11. 12	奈良県農業総合センター	ピオラ審査 (出品 12 点)
11. 14	静岡県農林技術研究所 伊豆農業研究センター	キンギョソウ審査 (出品 15 点)
11. 28	熊本県農業研究センター 農産園芸研究所	ユーストマ審査 (出品 25 点)
12. 15	神奈川県農業技術センター	パンジー・ピオラ審査 (出品 16 点)
12. 19	東京・日種協	1. 第60回全日本花卉品種審査会の実施経過報告 2. 花き業界を取り巻く状況に関する検討事項について 3. 各社状況報告
27. 1. 30	茨城・花き研究所	全日本花卉品種審査会 特別賞選考委員会
2. 17	千葉県農林総合研究センター	パンジー・ピオラ審査 (出品 20 点)
2. 19	和歌山県農林総合研究センター 暖地園芸センター	スターチス審査 (出品 18 点)
3. 20	長崎県農林技術開発センター	ユーストマ審査 (出品 23 点)
苗 部 会		
27. 2. 26~28	中国・上海	討議研究会及び視察
芝・牧草部会		
26. 6. 10	東京・上野精養軒	1. 外来生物法に係る情報について 2. 部会長改選について
栄養繁殖性植物部会		
26. 12. 19	東京・日種協	1. 部会の運営方針について
資 材 部 会		
26. 11. 27~28	千葉県下	討議研究会及び視察
会 員 委 員 会 (役員選考委員会等)		
26. 4. 23	東京・上野精養軒	1. 「理事・監事・参与」候補者の推薦について 2. 今後の進め方について
6. 11	東京・上野精養軒	1. 「理事・監事・参与」の推薦について
27. 1. 27	京都・リーガロイヤル京都	1. 特別会費の見直しについて 2. 賛助会員の会費の見直しについて 3. 種苗管理士講習会の見直しについて 4. 組織構成の検討について
広 報 委 員 会		
26. 6. 18	東京・日種協	1. 種苗界の編集方針について 2. 社会への種苗の啓蒙活動について

事項別 開催等年月日	会場等	摘要
広報委員会 26. 9. 18 12. 16 27. 3. 18	東京・日種協 東京・日種協 東京・日種協	1. 種苗界の編集方針について 2. 社会への種苗の啓蒙活動について 3. 協会パンフレットについて 1. 種苗界の編集方針について 2. 柱となる連載記事の発掘について 3. 社会への種苗の啓蒙活動について 1. 種苗界の編集方針について 2. 社会への種苗の啓蒙活動について 3. ホームページについて
政策委員会 26. 7. 22 10. 16	東京・日種協 東京・日種協	1. 国内種苗生産基盤強化事業について 2. 農林水産省新事業創出課との意見交換 1. 海外植物遺伝資源事業についての説明会
法務委員会 品種名分科会 26. 4. 2 6. 5 9. 2 10. 1 10. 1 12. 8 27. 1. 28 2. 23	書面審議 書面審議 東京・日種協 書面審議 東京・上野精養軒 書面審議 京都・セントノーム京都 東京・日種協	登録申込品種名 52件審議 44件登録 (第179回) 登録申込品種名 64件審議 54件登録 (第180回) 登録申込品種名 47件審議 37件登録 (第181回) 登録申込品種名 30件審議 25件登録 (第182回) 1. 独禁法への対応について 2. 国際条約と関連国内法について 登録申込品種名 77件審議 68件登録 (第183回) 登録申込品種名 81件審議 64件登録 (第184回) 1. 地理的表示法 2. 景品表示法 3. 不正競争防止法 4. 外来種防止法 5. 法務委員会の今後の守備範囲について 6. その他 講演会
経営研究委員会 26. 10. 2 10. 20	東京・上野精養軒 資料送付	1. 今後の委員会の進め方について 1. 焼き鳥はなぜ串に刺さっているのか 2. 中小企業の危機管理ノート
技術研究委員会 (野菜審査会等) 26. 11. 4 11. 19	東京・日種協 愛知・産業労働センター	(審査会は野菜種子部会との共管) 種子処理剤検討委員会WG 1. 平成27年度課題別研究会の演題検討について 2. 平成26年度全日本野菜品種審査会の実施経過報告 3. 平成27年度全日本野菜品種審査会の実施計画について
国際委員会 26. 5. 8 (生物多様性小委員会) 26. 8. 18	東京・日種協 東京・日種協	役員会 1. 名古屋議定書の国内措置について 2. ITPGRFAの利用について

事 項 別 開催等年月日	会 場 等	摘 要
(生物多様性小委員会) 27. 1. 28 3. 6	京都・セントノーム京都 東 京 ・ 日 種 協	1. I T P G R - M L S への対応について 講演会 名古屋議定書関連の最近の動向 2. 名古屋議定書の動きについて
A S C 国内組織委員会 26. 7. 22	資 料 送 付	1. A S C 2013神戸大会 記念誌送付
A P S A 26. 11. 10~13	マ カ オ	A S C 2 0 1 4 マカオ大会
I S F 26. 5. 24~28	中 国	I S F 北京大会